

令和6年度 すずか市民アカデミー「まなベル」特別講座 事業報告

例年、市内高等教育機関と連携して開催しているすずか市民アカデミー「まなベル」の特別講座として2講座を開催し、のべ198名の方に受講いただきました。

午前の部：『何から始める？初めての終活』

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社包括連携協定事業

日 時：1月25日(土)10:00～11:30

会 場：鈴鹿市役所本館12階1203会議室

講 師：一般社団法人 日本エンディングサポート協会

理事長 佐々木 悦子 先生

受講者：115名



講座内容：

人生の終末期に備えるためのエンディングノートの書き方について、財産相続、介護・医療、葬儀などのさまざまな観点から、具体例を交えて解説いただきました。

受講者アンケートより：

- ・これからの生活の参考になりました。
- ・体が動くうちに気力があるうちにできることを始めたいと思いました。身近な人にも伝えたいです。
- ・あせらずあわてずあきらめず、エンディングノート記入をひとつひとつ進めていきたいと思いました。
- ・何度か終活の話を書く機会があったが、暗証番号の必要性や葬儀費用の件など、詳しい事例が聞けて、とても参考になりました。
- ・自分なりに終活に取り組んでいましたが、不足な部分もあり、色々参考になりました。

午後の部：『巨大災害に備える』

三重県生涯学習センター共催事業

日 時：1月25日(土)13:30～15:00

会 場：鈴鹿市役所本館12階1203会議室

講 師：国立大学法人 三重大学

大学院工学研究科建築学専攻 教授

地域圏防災・減災研究センター センター長

川口 淳 先生

受講者：83名



講座内容：

過去の災害や南海トラフ地震臨時情報などの事例から日本の災害対策の現状や課題を解説いただき、災害から生き残るための対策を公助・共助・自助の視点から考えました。

受講者アンケートより：

- ・とても勉強になりました。テレビ等に左右されがちな情報をいかに正確に受け取れるのか考えさせられました。
- ・南海トラフを怖がるばかりでしたが、今まで以上に地震に備える準備が必要だと思いました。
- ・身近な防災意識について考える良い機会になりました。
- ・先生の話がとてもわかりやすく、ニュースや報道の見方が変わりました。
- ・自助共助の話が心に残りました。情報を冷静に判断してひとつでも命が助かる方法を見つけていきたいと思います。